

## 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 3 年 3 月 8 日

公表: 令和 3 年 3 月 31 日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスととて

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		・適切な基準のもとスペースは確保されています。	・利用定員、スペースとも基準を遵守していますが、昨今のコロナ禍の影響で、子ども一人ひとりのスペースをより広く確保出来るように考えていきます。
	2	職員の配置数は適切である	6		・基準人員は満たしているが、より良い支援が出来るように職員の資質向上に努めて参ります。	・人員配置基準は満たしているが、利用者の状況に合わせ、職員の勤務体制の整備を検討していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	2	・階段等に手すりを設置しています。	・建物の構造上バリアフリー化はされていません。また、賃貸契約のため改装等は出来ませんが、危険な場所を作らないように環境整備に努めて参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		・除菌、加湿などを徹底し清潔な空間を保つようにしています。	・コロナ禍でいつも以上に除菌等に力を入れて、清潔な空間を提供していきたいと考えております。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		・会議の場で意見交換し業務改善に努めています。	・職員で話し合い、意見をまとめながら目標設定をし、振り返りもするように努めていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	2	・今年度より事業開始したため、初めてのアンケート実施ですが、この結果を元に業務改善に努めていきます。	・今後もアンケートを実施し、保護者様の意向を把握し業務改善に努めていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		6	・事業所向けの自己評価を行いホームページ等で公開いたします。	・ホームページ以外にも会報などでの公開を検討していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6	・現在、第三者による第三者評価は行っていません。	・必要に応じ第三者による評価についても検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	4	・職員の資質向上のために、様々な研修を行っています。	・今後もより良いサービスを提供できるように様々な研修に参加出来るよう努めていきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	2	・児童発達支援管理責任者が、お子さま、保護者様からのニーズや課題について伺い、それに沿った計画の作成に努めています。	・定期的に面談を行い、ニーズや課題に沿った計画の作成に努めていきます。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	・アセスメントシートを活用しています。	・今後も適宜、見直ししながら最適なアセスメントツールの検討をしていきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		・個別支援計画書には発達支援3項目、家族支援、地域支援各1項目として目標を設定し、支援方法や内容を記載しています	・もっと具体的な支援内容が設定できるように、必要な項目を見直していきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	3	・利用時の様子を支援記録に記載し、計画に沿った支援が行えているか職員間で振り返りを行っています。	・常に計画をもとに支援が行われているかの振り返りをし、職員間で活動内容を検討していきます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	・職員全体で協議、立案し支援にあたっています。	・プログラムが固定化しないように今後も職員間で活動内容について検討、振り返りを行っていきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	・常に職員で意見を出し合い、プログラムが固定化しないように工夫しています。	・プログラムが固定化しないように今後も職員間で活動内容について検討、振り返りを行っていきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	3	3	・保護者様から、お子さんの状況を伺い、ニーズに沿った個別支援計画を作成している。	・定期的にモニタリングを行い、お子さんの状況や保護者様のニーズに沿えるよう努めていきます。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		・毎回、職員間で打ち合わせをし役割分担を決め、必要事項を伝達、共有しています。	・きめ細やかな支援が出来るよう、打ち合わせ時間確保に努めていきます。	

18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	・毎回、職員間で振り返りを行い、気付いた点を共有している。	・送迎対応などで支援終了後の振り返りが出来ない場合は、翌日の朝礼を利用し情報の共有に努めています。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		・業務日誌などで日々の支援内容を記録し、今後の支援の改善につなげています。	・お子さん一人ひとりの記録を正しく取り、今後の支援の改善につなげていきたい。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		・保護者様との面談を行い、個別支援計画の見直しを行っています。	・保護者様のニーズに合わせたモニタリングができる体制を整えていきます。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		・担当者会議等には児童発達支援管理責任者が出席して情報の提供及び共有に努めています。	・今後も参加し、より良い支援につなげていけるように努めていきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6		・関係機関と連携し、お子さまに合った支援を出来るように心がけています。	・関係機関とより良い連携が取り合えるように努めていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6		・対象となる児童の利用はありません。	・必要に応じて関係機関と連携を取り情報共有を行っていきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6		・対象となる児童の利用はありません。	・必要に応じて関係機関と連携を取り情報共有を行っていきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		現在、対象となるお子さんの利用はありません。	・必要に応じて関係機関と連携を取り情報共有を行っていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	4	・対象のお子さんに応じて関係機関と情報共有を図っています。	・必要に応じて関係機関と連携を取り情報共有を行っていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	5	・支援センター主催の研修など可能な限り参加するように心がけています。	・新型コロナウイルスの影響もあり、外部研修の開催が少ないが開催の案内があれば参加していきたいと考えています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6	・現在、保育所等との交流の機会は設けていません。	・現状、保育所等との交流の機会は出来ておりません。必要に応じて検討していきたいと考えております。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		6	・現在、コロナ禍ということもあり参加できていません。	・状況を見て依頼があれば参加していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		・連絡帳や送迎時などで状況をお伝えし、共通理解に努めています。	・電話やSNSなども利用し可能な限り発達の状況や課題について共通認識を高めていけるように努めていきます。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	1	5	・保護者様から相談を受けたい際には、考えられる方法の提案は行っています。	・ペアレントトレーニングといえる支援は行えていませんが、研修参加など職員の資質向上に努めて参ります。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		・契約時に説明させて頂いています。	・必要に応じ補足説明は行っていきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		・個別支援計画書には発達支援3項目、家族支援、地域支援各1項目として目標を設定し、支援方法や内容を記載、同意を得ています。	・定期的に支援計画を見直し、その都度保護者様への説明、同意を得るように努めていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		・保護者様からの相談に対して出来る範囲の助言や提案はさせて頂いています。	・適切なアドバイスが出来るように職員の資質向上に努めて参ります。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6	・現在、父母会はありません。	・父母の会の活動はありませんが、保護者参加型の行事を計画し交流の場を設けていけるように努めて参ります。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		・苦情や相談に対して解決へ向け迅速かつ丁寧な対応を心がけています。	・保護者様からの相談などを申し入れやすい環境整備に努めて参ります。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		・定期的にとて便りを発行して、日々の活動の様子や行事予定などをお伝えさせて頂いています。	・子どもたちの活動や様子が保護者様に伝わるように定期的に発行していきたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6		・個人情報の取り扱いについては十分留意し業務にあたっています。	・今後も細心の注意を払い業務にあたっていきます。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		・様々なツールを活用しながら、意思疎通や情報伝達に取り組んでいます。	・保護者様に正確な情報を伝えられるように職員間での情報の共有にも努めていきます。

40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6 ・現状、新型コロナウイルスの影響もあり、地域との交流は出来ていません。	・状況を見て、地域との交流が出来るように検討していきます。
----	------------------------------------	--	--	-------------------------------

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	・各マニュアルについては、施設内に掲示しています。	・各マニュアルについては、必要に応じて周知させて頂きたいと考えております。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	・様々な災害に備え必要な訓練を行っている。	・今後も消防と打ち合わせをし必要な訓練を行っていきたい。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	・契約時にお子さんの状況を確認しています。	・お子さんが利用時に服薬がある場合は、職員全体で情報を共有し飲み忘れがないように気を付けています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	・契約時に保護者様に確認し必要に応じて対応させて頂いております。	・現在、医師の指示書をいただいているお子さんはいませんが、必要に応じて対応していきます。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	2	・ヒヤリハットは職員が記録し事業所内で共有している。	・より多くのことに気づき、事故につながることをないよう取り組んでいきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	・虐待に関する内部研修を行っています。	・今後は、状況のみて外部研修にも参加していきたく考えています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	・契約時に保護者様に説明し、必要に応じ了承を得て記載しています。	・職員会議で十分協議し、保護者様との面談で話し合い決定していきたく考えています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。